

転居等に伴う就職に関する相談窓口開設について

「えっ?! 引っ越し?!」就職先に困ったら、支援ネットに相談しよう!

JUA ダイバーシティ推進委員会 日本泌尿器科学会医師支援ネット

過去 10 年程の卒後臨床研修の中で、大学医局に属さない若手医師が増加しています。しかしながら現状で、基幹施設に対する泌尿器科医の派遣は主に大学医局から行われていることが多いのはご存じのとおりです。医局に属さない医師らが転居などの理由により、あるいは何等かの理由で一旦離職された医師が、個人で新たな就職先を模索した場合、現在のネット上の公募情報では教育環境の整った施設を見つけ入職することは極めて困難です。また医局に属していたとしても、転居先次第では就職に限界があります。特に昨今の女性医師の増加に伴いこうした事例は一層増えると考えられ、長期にわたる医師としての人生設計を考慮することなく、必然的に教育の質が伴わない環境で自身の可能性を狭めた医師人生を送ることになるのではと心配されます。また、専攻医が転居に伴って泌尿器科専門研修プログラムを変更する場合は、各プログラム責任者の承認が必要となります。

日本泌尿器科学会では会員の教育、専門医の取得・更新、などの観点から、このような問題に学会として何らかの対策が必要と判断するに至りました。その結果、ダイバーシティ推進委員会（旧 男女共同参画委員会）に「転居等に伴う就職に関する相談窓口」を設けることとしました。相談者は相談内容書と推薦書（教育施設の長または代議員による）を当委員会までご提出下さい。当委員会で検討し内容が適切と判断される場合、転居先の適切な大学医局・基幹施設などに問い合わせることといたします。必ずしも相談者の要望すべてに応えられる施設を提示できるわけではありませんが、以上の観点より相談相手がいなくて困っていらっしゃる方など就職先の選択肢を増やす意味でもご一報下さい。

日本泌尿器科学会医師支援ネット

日本泌尿器科学会
ダイバーシティ推進委員会
医師支援ネット

審査

転居等に伴う就職に関する相談
相談内容書、推薦書提出

問い合わせ

相談者

転居先の適切な大学医
局・基幹施設

直接相談していただく